

審議会等議事概要

平成30年度 第1回 滝川市地域包括支援センター運営協議会 議事概要

日 時	平成30年5月24日（木曜日）午後6時27分～午後7時53分
開催場所	滝川市役所 8階 大会議室
出席者	男澤伸一会長、池田吉隆副会長、乗松奈穂美委員、佐々木哲委員、鈴木弘子委員、深村完市委員、窪之内美知代委員、橋 弘恭委員（欠席：原岡研二委員） 事務局：千田副市長、國嶋保健福祉部長、黒川介護福祉課長（兼地域包括支援センター所長）、土橋同課長補佐、橋本同課介護保険係主査、相澤地域包括支援センター副所長、加地同センター介護支援係長
議 事	<p>（会議の冒頭において、新委員への委嘱状の交付を行った。）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 市長挨拶（市長代理：千田副市長） 3 会長・副会長選出 委員の互選により男澤委員が会長に、池田委員が副会長に選任された。 4 会長・副会長挨拶 5 議事 <ol style="list-style-type: none"> （1）平成29年度滝川市地域包括支援センター事業報告について 事務局）資料に基づき説明を行った。 委 員）資料6ページの（8）北海道医療大学連携事業のコミュニティワーク実習については、大学からデータなどの提供をいただいているのか。また、そのようなデータなどを基にして、市の施策に何らかの反映を行っているのか。 事務局）調査対象が35人であるため、市全体の課題抽出ということにはならないが、例年教授がまとめられたデータを頂戴しており、地域包括支援センターの取組に活用させていただいている。 委 員）この実習は、具体的な目的や課題などが明確にされているのか。 事務局）この事業は、大学の实習に市が協力するという立場のものであり、大学の目的としては授業の一環としての実習の実施である。 委 員）資料3ページの（5）生活支援体制整備事業の生活支援コーディネーターの活動状況の表において、「その他」とは具体的にどのような活動を行っているのか。 事務局）町内会や民生委員の総会、役員会などに出席させていただくなどしている。 委 員）資料5ページの（8）オレンジ倶楽部については、主催しているのはどなた

になるのか。

事務局) 市が参加者の皆さんのご意見等も踏まえながら行っている。

委員) ここで用いている認知症の定義は、病院などで認知症と診断された方だけとなるのか。

事務局) 認知症と診断された方だけではなく、受診すれば診断を受ける可能性が高い方や、加齢による物忘れがひどい方なども広く含めている。

委員) 資料3ページに記載されているネットワークや連携などということ言えば、どういったことが市として重要と考えているのか。

事務局) 市の地域包括支援センターとして、できる限りのことはさせていただいているつもりであるが、やはり、関係機関・団体のみなさんや、地域住民の方々にもご協力をいただき、連携して地域を支えていくということが必要であると考えている。

委員) 例えば、こことあそこの連携が良くなればこの地域の在宅ケアが進むのになどというように、具体的に感じていることは何か。

事務局) 特効薬はないと感じている。今後も着実に進めてまいりたい。

(2) 平成30年度滝川市地域包括支援センター事業計画について

事務局) 資料に基づき説明を行った。

委員) 資料12ページの8. 生活支援体制整備事業について、江部乙地域は広いが、協議体などは1つにまとめて立ち上げていくのか、いくつかに分けて進めていくのか。

事務局) まずは、地域の皆さんと相談しながら柔軟に検討してまいりたいと考えている。

委員) 第1層協議体となる滝川支え合い会議は、どのような構成員で組織されているのか。

事務局) 第1層協議体については、これまで学習会を開催し検討を進めてきた経緯もあることから、まずはその参加者20名程度により進めてまいりたいと考えている。

委員) 第1層、第2層という設計など、考え方は素晴らしいと思うが、少し背伸びしすぎではないかと感じる。例えば、町内会などで様々な取組を進めようと努力していても、進む町内会もあればなかなかうまくまとまらない町内会もあるなど、実際にはなかなか難しいものである。東滝川地域での取組は進んでいるのか。

事務局) 5つの町内会や老人クラブなどの会長さん方が中心となり、地域の一人暮らしの方などにどんなことに困っているのかなどアンケート調査を実施していただいたところである。現在、結果を集計しているところであり、その結果を踏まえ、地域としてどのような支え合いが必要かということについて話し合いを進めていくこととしている。

委員) この取組は難しいことだろうとは思っている。しかし、その難しいことを何とか実現しなければ、厳しい状況が近い将来やってくるということも事実である。第7期の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定の市民会議にお

いても様々な意見もあったが、ここにご出席されている各団体のお立場の皆さんにも精一杯旗を振って応援していただき、この地域の将来のために何とか進めていかなければならないと感じている。

委員) 追加資料のおくすり相談袋の取組について、これは具体的にどのようなときにどのように袋を用いれば良いものなのか。

事務局) ご自宅に残っているお薬をこの袋に入れて資料に記載している滝川薬剤師会会員薬局さんで相談していただきたい。まずは、いきいき百歳体操教室参加者の方から試行し、その後、様子を見て広く周知などを行ってまいりたい。

委員) すみれ調剤薬局の薬剤師が中心となり一生懸命検討を進めている取組であり、相談袋をかかりつけの薬局に持って行けば、何故飲み残しが生じるかなど具体的に相談をさせていただき、例えば、1日1回であれば飲み残さないなどということを医師にもフィードバックして改善につなげていこうとするものである。そういった相談そのものは、従来から各薬局で行っているところであるが、薬局により温度差などもあることから、このような形で広げていこうということとなったものである。

(3) 平成30年度滝川市地域包括支援センター事業予算概要について

事務局) 資料に基づき説明を行った。

委員) 資料15ページの1. 新しい介護予防・日常生活支援総合事業の(2)一般介護予防事業の①介護予防把握事業については、平成29年度で事業廃止するというものではなかったか。

事務局) 国の制度改正により、この一般介護予防事業という形で実施していくというものであり、非常に重要な役割を担っている事業であると考えていることから、今後もこの事業は継続を予定している。

(4) 平成29年度認知症初期集中支援チーム活動報告について

事務局) 資料に基づき説明を行った。

委員) 認知症初期集中支援チームでの事例検討は12件程度となっているが、今後増加していく余裕はあるのか。

事務局) 1件1件について、かなり細かに様々なお話しを伺ったり、何度も訪問して受診やサービスにつなげたりと、どうしても時間を要することとなる。また、新規の方の対応を行いつつ、並行して継続支援の方の対応も行うことから、なかなかこれ以上件数を増加していくことは難しい状況である。しかし、緊急的な対応を要するご相談があった場合などについては、このチーム活動とは別に他の地域包括支援センター職員も含めて対応を行っているところである。

(5) 平成29年度地域ケア個別会議実施報告について

事務局) 資料に基づき説明を行った。

委員) この会議は地域ケア推進会議の位置付けも併せ持つということであるが、

我々委員にどのようなことを求めているのか。

事務局) 初めての地域ケア推進会議としてのご報告となることから、まずは、地域ケア個別会議の対応・結果についてご報告させていただいた。地域包括支援センターとしての対応や今後の方向性についてご指摘やご助言などいただきたいと考えている。また、次回以降の会議の在り方についてもご意見をいただいで参考とさせていただきたい。

委員) 地域ケア個別会議で検討を行った個別の課題を参考として、全市的な解決が必要な課題であると認識されるものについては、例えば、免許返納を行った高齢者の移送のためタクシー代を支給しようであるとか、独居高齢者が入院した場合のペットの取扱いについての施策をこうしよう、などというように、これからの地域包括ケアというのは、地域に根差せということで、この地域ケア推進会議を活用し地域の課題を解決していくということが国の制度設計となっているようである。

委員) そういうことであれば、今後の地域ケア推進会議の在り方として、地域ケア個別会議の事例を1件1件ということではなく、ある程度課題をまとめていただき会議に諮っていただくべきと考える。

委員) 半年に1度報告をいただき、それについて検討を行っていくというような方向性で良いのではないかと考えるが、始まったばかりの取組であるため、今後やってみる中で工夫を重ねていただきたい。例えば、対応結果や課題ということ項目ごとにまとめるという形も1つの方法ではないか。

事務局) ご意見を参考とさせていただき、次回会議に反映したい。

6 その他

(1) 議事録の公開及び議事録署名委員の選任について

本協議会の議事録について、市ホームページにおいて公開する旨の了承をいただき、委員の互選により任期満了までの間における議事録署名委員として佐々木委員が選任された。

(2) 地域密着型サービス事業所の事業廃止について

市内地域密着型サービス事業所の事業廃止について、報告を行った。

(3) 次回会議日程について

次回会議日程について、例年同様11月頃の開催を予定することとし、会長に一任された。

7 閉会

会議資料

資料 第1回滝川市地域包括支援センター運営協議会次第・議案資料